

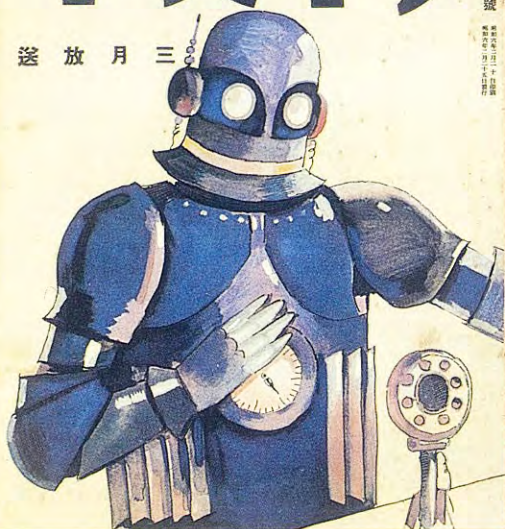
JOAK 書 JOBK 森 JOCK 愛 JODK 露 JOFK 橋 JOGK 栗 JOHK 山

JOAK JOBK JOCK JOBK JOFK JOGK JOHK

エドモのテキスト

のモドコ トスキテ

送放月三



第四年 第三號

のモドコ トスキテ

四月放送



のモドコ トスキテ



御大典記念號

全 3 卷

ラジオが語る

学術資料出版
大空社出版
eigyo@ozorasha.co.jp
TEL:03-5963-4451 / FAX:03-5963-4461
東京都北区中十条 4-3-2 (〒114-0032)

資料に命の心を
作品に心こめて
形にして伝える。
www.ozorasha.co.jp

子どもたちの昭和史

収録復刻資料：日本放送出版協会「ラジオ子供のテキスト」／編著者：昭和少年少女文学館・代表 秋山正美

JOAK 書 JOBK 森 JOCK 愛 JODK 露 JOFK 橋 JOGK 栗 JOHK 山

JOAK JOBK JOCK JOBK JOFK JOGK JOHK JOIK JOJK JFAK

携台・澤金・幌札・台仙・本熊・島廣・城京・屋古名・阪大・京東



NHK ラジオ放送番組「子供の時間」のテキストをベースに

1992年3月刊

大空社

昭和の子どもたちの世界をフォーカスする！

読拾貳金價定

放送児童文化の軌跡

日本児童文学学会会長 滑川 道夫

日本のラジオ放送は、一九二五年（大正十四年）三月二十二日東京放送局総裁・後藤新平の開局記念放送で開幕した。その中で総裁は「あたかも空気と光線のごとく」電波の恩恵を均等に普遍的に提供する「文化の機会均等」の機能を第一にあげている。特定の人間のみが享受する文化財に非らずという強調は、同年七月十二日の本放送の開始と共に「子供の時間」が開始されることにも現れる。四年後に、本書のベースになる『子供のテキスト』が発行された。番組内容の解説にとどまらず関連領域の知識・情報・遊戯・物語・マンガ等の読物をふくむ月刊子供雑誌であった。

ラジオ放送という聴覚メディアと、その読物雑誌とは、それぞれ独自性を持ちながら補完し合っている。この補完によって新しい児童文化財としての機能を發揮している点に注目すべきであろう。ラジオ聴取への興味を開発するとともに、読むことによって内容理解をたしかなものにする役割を果たしている。大正期の児童芸術運動から戦時期の皇国民育成の時代の情勢を反映し、昭和十六年の出版統制の時期に廃刊するまでの軌跡

を示す貴重な史料である。

せんす
います

なつかしい童謡の復活

森の木児童合唱団主宰
コロムビアレコード専属 川田 正子

私が音楽の道に入ったのは昭和十七年、七歳のときでした。戦争がますます激しくなった時期をとおして、ラジオの「子供の時間」のほか、毎日のように、東京・内幸町にあった放送会館のマイクの前に立って、いろいろな番組で童謡や唱歌を一生けんめい歌い続けておりました。空襲の焼跡があちこちに残っていた戦後には、小学生からお年寄りまで、私と一緒に声を合わせて「里の秋」や「みかんの花咲く丘」を歌ってくださったものです。

最近、なつかしい童謡を見直す気運が盛り上がってきて、私は、森の木児童合唱団と共に、コンサートや歌唱指導に張りきっているこのごろです。こうしたとき、「うたのおけいこ」そのほかの、昭和の放送番組のかずかすが「ラジオ子供のテキスト」の復刻単行本にまとめられ、忘れられていた多くの童謡がよみがえることを、心から喜ばしく思っております。

刊行のことば

昭和少年少女文学館・代表 秋山 正美

平成のいま、昭和の子供の風俗史や児童文学史の本は数多く出版されているけれども、過去の児童文化としてこんにちに伝えられているものは、主として文学・音楽・演劇などの分野であって、マス・メディアとしての放送が、テレビのない時代に、全国の子供のためにどのような役割を果たしていたかについての記録が出版された前例は、ただの一度もない。つまり、日本の子供の昭和史のなかで、放送児童文化に関する部分だけが欠落し、空白になったまま、すでに半世紀以上が過ぎ去ってしまったのである。

ここに出版された『ラジオが語る 子どもたちの昭和史』は、わが国で子供のための放送が開始された昭和のはじめから約十二年間にわたるラジオ放送の「子供の時間」の主要番組とその内容の記録であり、月刊「ラジオ子供のテキスト」（日本放送出版協会）の原本を資料とする放送児童文化史である。

これら全三巻は、テーマ別に約五百種目に及ぶ放送番組のガイド記事の復刻と、同じ「子供の時間」に放送された童謡・唱歌約百曲の復刻楽譜から成っている。

現在「ラジオ子供のテキスト」の欠号のない原本全巻は、NHKの資料としては保存されていないといわれ、今回使用したものは、昭和少年少女文学館所蔵の、かけがえのない原本である。半世紀前、ラジオの前に集まって少年少女たちが全国各地で耳を傾けていたあの日、あのときの放送が、再びよみがえるとは、なんという驚きであろうか。

貴重な童謡を歌い継ぐために

声楽家 千葉敬愛短大教授
日本音楽著作権協会会員 河村 順子

日本の児童文化は、大正末期から昭和のはじめにかけて、めざましい発展を遂げました。その流れにはずみをつけたのは、何と云っても、大正十四年から開始されたラジオ放送と、レコード音楽の普及でした。私の父・河村光陽が作曲した「うれしいひなまつり」や「かめの水兵さん」などの童謡が広く歌われるようになったのも、こうした時代の背景があったからでしょう。

私自身も、昭和六年、五歳のときから童謡を歌い、約六十年の間に、何百曲ものレコードを世に出させていただきました。父は、私が童謡を歌うために学校を休むことには不賛成でしたが、夏休みには、父と私の二人の妹と一緒に、各地でファミリー・コンサートを催し、音楽の旅をした楽しい思い出があります。

今回、『ラジオが語る 子どもたちの昭和史』の出版により、特にラジオの「子供の時間」に放送された童謡が多く紹介されているのが貴重なことであつたしく、これらの作品が次の世代に歌い継がれていくことを願っております。

せんす
います

戦時下の好資料

元NHK青少年部主管 大蔵 宏之
昭和を生きた子供たちの生活・文化・歴史を考える上で欠くことのできない「ラジオ子供のテキスト」が形も新たに編まれ復刻収録されますことは、関わっていた者として望外の喜びです。

私は後に請われてNHK職員になりましたが、はじめはフリーのライターで、私も「新支那旅行」「満州だより」など、いわゆる連続もの、BK発全中番組を書かせてもらっていましたので、とてもなつかしく思います。「満州だより」を書くに当たっては、満鉄大阪支所の御援助を受け、三か月にわたって満州各地を实地探査し、多くの資料も集めて番組を構成いたしました。NHK海外取材番組の走りでもあったのです。

何分情報の少ない時代でしたから、ラジオのある家はいうまでもなく、ラジオのない家の子も、「子供の時間」のはじまる前に近所の家に集まって進んで聞き、話題にもしてくれました。

「ラジオ子供のテキスト」は、その頃花開いていた児童文化を知る上で欠かせない好資料ですから、多くの学校、図書館、研究者の皆さんの手に、幅広く届きますよう心から念じています。

第三は、立派な山にのぼれまうぞうし
 第四は、立派な山にのぼれまうぞうし
 第五は、立派な山にのぼれまうぞうし
 第六は、立派な山にのぼれまうぞうし
 第七は、立派な山にのぼれまうぞうし
 第八は、立派な山にのぼれまうぞうし
 第九は、立派な山にのぼれまうぞうし
 第十は、立派な山にのぼれまうぞうし



自は國際主義者です。世界中の子供
なかつても仲良くしませうとお約束

特色

全三巻中、一・二巻は放送された番組の中から、昭和の子供たちの生活・遊び・夢を活写する作品五五〇点を収録。海野十三・荻原井泉水・大仏次郎・北原白秋・西条八十・サトウハチロー・高浜虚子・田河水泡・徳川夢声・野尻抱影など斯界の錚々たるメンバーが執筆。第三巻は「子供の時間」に放送された童謡・唱歌一〇〇曲の楽譜集とした。第三巻巻末に投稿詞作者へのインタビュー記事を収録。

テーマごとに編著者・秋山正美のわかりやすい解説を付した。おもしろさ満載！



○おばあさんとうずす(特選煮物)……………古漬福一(三)

[illegible]

当時の日本放送協会（現NHK）の各局が流した「子供の時間」は、テレビや民放のなかった時代の唯一のマス・メディアとして、全国の幼児・小中学生に多大の影響を与えた！



新装成れる放送会館／『日本放送協会史』S14. 5より

昭和の子供たちの豊かな世界をビジュアルに、ビビッドに伝える写真——〇〇点、イラスト六五〇点、図版一五〇点！



昨年BK放送の「海の子供たち」の完結篇放送の後で、作者大佛次郎先生と、太郎と次郎に成った山本能男君、藤尾良邦君とて記念撮影をなさいました。
山本能男君は尋常六年生で、藤尾良邦君は一年下の五年生です。山本君は嘗ては「チヨビ助」をBKから放送したことがあります。

（。すで君尾藤 君本山 生先佛大りよ右眞寫）

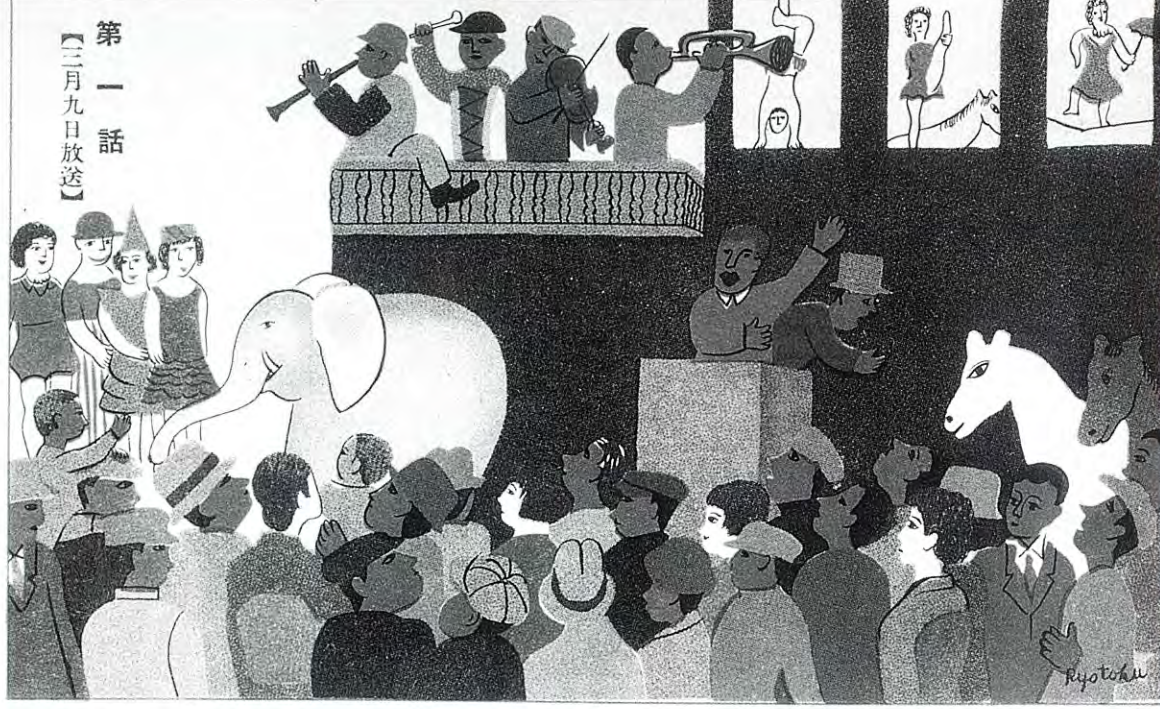
第2卷

第3卷

13	理科・科学・数学	素晴らしい科学の力(4・8)／指紋(5・7)／鉛筆の出来るまで(5・8)／汽車の歴史(5・9)／塩(5・9)／寒かった日本の国(6・9)／冬至(5・12)／砂糖の出来るまで(5・12)／世界一物語(6・1)／科学は世界を如何にするか(6・3)／長生不死の薬(6・4)／五月蠅よう(6・5)／時かぬ種は生えぬ(6・5)／人と船(6・8)／河童(6・8)／天の川の南北(6・10)／飛行機(7・4)／星の世界は探索出来るか(7・4)／世界の陸／海／空(7・10)／気象通報の聴き方・見方(7・11)／誰にも出来る簡単な測量(8・3)／簡単な電話機(8・3)／私達が音をきく時(8・4)／人間を不精にする機械(8・9)／路傍の科学(8・10)／火事に気を付けよう(8・11)／人造人間の解剖(8・12)／世界の海軍(9・11)／ミイラ(11・5)／時計(11・6)／百年後の世界はどうなる(11・6)／写真(11・8)／レンズ(12・2)／子供のテキスト一型号(12・4)／ほか
14	動物・植物	鳥の鳴く音(4・4)／米の一生(4・10)／鰐と象(4・11)／伝書鳩(6・2)／春の動物園めぐり(8・4)／象狩り(11・9)／お米の一生(11・10)／登山と熊(12・2)／動物園めぐり(12・4)／眼を覚した春の草花(14・4)／象狩(14・7)
15	地理・旅行	コドモの旅 松島めぐり(4・8)／ラチオ双六 世界一周騎馬旅行(5・1)／新領土我が南洋(5・5)／瀬戸内海コドモ遊覧船(5・8)／空の旅(6・1)／海の不思議(6・7)／満州とは(7・1)／東西日本早廻り放送リレー(7・4)／大島を渡る(8・8)／日本満州交通物産比較早わかり(9・11)／ラチオ日本見物東京(12・1)／ラチオ日本見物東京(12・4)／ラチオ日本見物北九州(12・9)／ラチオ日本見物大阪(12・12)／ピラミッドとスフィンクス(13・6)／世界の不思議(14・3)／南洋生れの日本魂(14・4)／世界一周ドイトの旅(14・5)／世界一周イタリアの巻(14・6)／世界一周スカンデナヴィアの巻(14・8)／満洲地より「交通」(15・7)／科学コドモの旅 近畿の巻(16・1)／ほか
16	図画・工作(手工)	水に因んだ玩具(4・8)／あり合せの材料で出来る家庭手工(4・12)／クランク仕掛の玩具(6・4)／本物に負けない模型飛行機(6・6)／直ぐ出来る水遊びの玩具(6・7)／影絵芝居(6・11)／クリスマススの贈物(6・12)／お人形芝居(7・4)／実物幻燈(7・4)／セルロイドの玩具(7・9)／変った風の作り方(8・1)／面白い科学遊び(8・1)／葉笛(8・6)／手軽に出来る潜水艦とヨット(8・7)／楽しい夏の夜の遊び(8・8)／切實玩具とジグソーパズル(8・9)／型紙で刷る面白い年賀状(8・12)／やさしい時計の作り方(10・5)／水の玩具(10・7)／やさしい風の作り方(11・1)／写生の仕方(11・9)／フランス人形の羽子板(12・1)／フランス人形の時間表(12・2)／ロボットの玩具(14・4)／ほか
17	音楽	ベートーヴェン物語(4・10)／天才モーツァルト(4・12)／童謡を作る方々(5・6)／砂山・あした(6・7)／子供の詩(6・10)／うたのおけいこ(7・8)／吹奏楽(11・3)／管絃楽(11・4)／胡桃割り人形(11・5)／パイプオルガン(11・7)／骸骨の踊(11・7)／打楽器(11・9)／ハルモニカ(11・10)／レコード(12・4)／針金に音を吹込むお話と実験(12・12)／子供は宝(13・8)／白鳥の湖(14・5)／解説付管絃楽(14・7)／愉しき農夫(14・9)／幼児の時間 童謡物語(14・9)／ドゥワッゴッコ(15・7)／ツララ／ハイタイ(16・2)
18	スポーツ・保健	水と泳ぎ方(4・8)／冬のスポーツ ラグビー フットボール(4・12)／誰にも出来る卓球競技法(5・1)／第九回極東選手権大会(5・5)／ウインター・スポーツをうけて(6・3)／バレーボール(6・4)／みんな丈夫になりませう(6・5)／むし歯の進行(6・6)／裏からのぞいたリリク戦(8・7)／一週間で泳げる水泳(8・8)／夏は体に大切な時(8・8)／野球の見方きく方(8・10)／野球の誕生(8・10)／掲げよう！われらの日章旗(11・7)／夏場所大相撲(11・7)／ベルリンからのオリムピック放送はこのテキストを見てきませう(11・8)／見よ！日章旗ひるがへる(11・9)／ベルリンから帰って(11・11)／ほか
19	遊び・趣味・生活・風俗(風物)	面白い千代紙人形の作り方(4・8)／暗号の話(4・10)／ボッポポツ(4・12)／童謡童謡／お正月の遊び／かるたの正しい取り方(5・1)／雲雀(5・5)／将棋盤で出来る野球遊び(5・8)／海辺から(5・8)／夜店八景(5・8)／ラチオ・スケッチ／自動車に気を付けませう(5・12)／絵と字(5・12)／大阪のお正月(6・1)／童謡劇／手品にならざる実験(6・5)／お人形スケッチ(6・6)／野球の放送(6・12)／(特選童謡)／夕千待(7・4)／ラチオ・スケッチ／まっかなもみぢ(8・1)／特選童謡／やさしく出来るきれいなお菓子(8・2)／面白遊びを御紹介いたします(8・3)／新らしい遊び四つ(8・4)／釣の楽しみ(8・7)／十月日記(8・10)／ラチオ・スケッチ／チョコレートと出来るまで(8・11)／キャラメル出来るまで(8・11)／ラチオの川柳(8・11)／犬の飼ひ方馴らし方(8・12)／昔の玩具いろいろ(8・12)／ほか
20	連載小説	一銭銅貨日記(8・1)／ボンポコ姉弟(11・4)／ボンポコ姉弟(11・5)／ボンポコ姉弟(11・6)／生れ変わったやうに素晴らしい「子供のテキスト」新年号！(11・12)／タンクと青豆(12・12)／人造人間F氏(14・1)／人造人間F氏(14・4)
21	まんが	子供と動物(5・12)／バケツの忠ちゃん(6・6)／キャンピング(8・7)／漫画放送局(8・8)／アナ小父さんの見た夢(8・10)／ボクは手品師(8・10)／コロコロ試合(8・12)／こんなスピーカーはいかが？(8・12)／クリスマス漫遊(8・12)／火の番小屋(9・1)／吾輩は大である(9・6)／人の顔(11・5)／昭和太閤記(11・8)／タルタランの冒険(12・11)／ボカボカ少年(13・1)／マンガ似顔の描き方(13・5)／アメノ日・ツユバレノ日(15・6)
22	お知らせ・読者のページ他	お待ち兼ねの子供のテキスト特選童謡集が出来ました(7・4)／放送室(8・1)／二月号目次(8・2)／放送室(8・2)／編輯だより(8・2)／ラチオタイムス(8・4)／ラチオタイムス(8・5)／綴方(8・6)／感想文(8・7)／感想文(8・8)／綴方(8・9)／綴方(8・10)／綴方(8・11)／綴方(8・12)／編輯だより(9・2)／綴方(9・6)／支部のページ(12・1)／子供のテキスト豪華新年号予告(12・12)／子供のテキストト回覧板(16・1)／子供のテキストト回覧板(16・2)
23	目次と放送プログラム	目次(4・4)／支部だより(13・9)／学校放送プログラム(13・9)／(13・10)／(14・1)／(14・2)／(14・4)／(14・5)／(14・6)／(14・7)／(14・9)／(14・12)／(15・4)／(15・7)／(15・12)／(16・2)／(16・4)／(16・4)／愛読者放送室(13・10)／(14・1)／(14・2)／(14・5)／(14・6)／(14・7)／(14・12)／(15・6)／放送室グラム(14・12)／(15・6)／(15・12)／(16・1)／(16・2)／(16・3)／(16・4)／(16・4)／幼児の時間(14・8)／幼児の時間予定番組(14・8)／幼児の時間プログラム(14・12)／(15・6)／(15・12)／(16・1)／(16・2)／(16・3)／(16・4)

[illegible]

一・二巻には、児童劇その他のドラマ・歴史・偉人物語・日本と世界の名作物語・理科・科学・数学・国語・動物・植物・地理・旅行・図工・スポーツ・趣味などのほか、当時の「子供の時間」放送に関連するグラビアなどが二十三のテーマに分類収録。総数は五五〇項目に達する。まさしく昭和の子どもたちの歴史そのもの！



第一話
【三月九日放送】

第二
小学校卒業
うれいナ
お正月の音
初午の太鼓
そら思ひ出すよ
としこしの豆

童話劇
思ひ出
【三月九日・十六日・二十三日BK放送】
〔梶本喜久代脚色〕

第一話
BKコードモサークル

お父さん「さう／＼お前の四歳の時のことさ、此の町へサーカスがや
つて来たのは……………」
お母さん「その日、みいちゃんはどうなにお父さんやお母さんを心配
させたかを、もう忘れてしまった？ あの日みいちゃんが、
引き起した大騒動を……………」
もう、すぐ小学校を卒業するみいちゃんは、幼い日のあの出来ごと
を、今又涙ぐましく思ひ出しました。



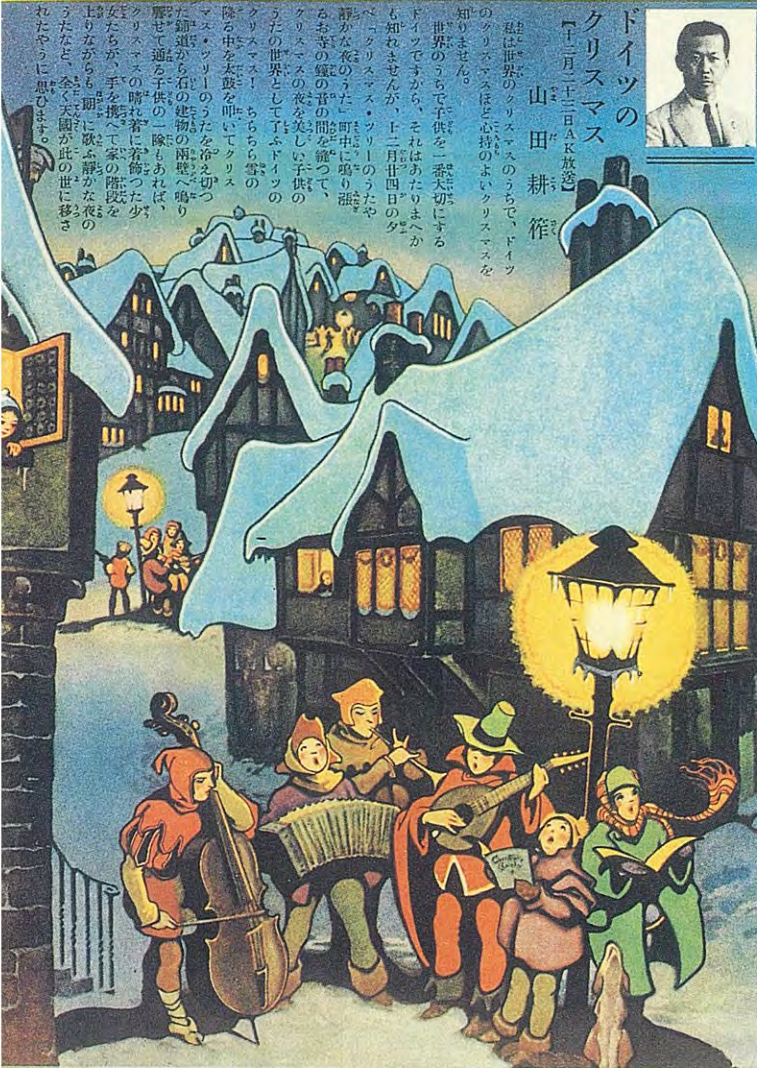
組見本（原寸）／昭和8年3月放送号より

ラジオに聴入る旭川盲啞学校児童（10.1.22）／『日本放送協会史』S14. 5より



「子供の時間」川南児童管弦楽団の管弦楽（10.7.12 AK）／『日本放送協会史』S14. 5より





ドイツのクリスマス
【十二月二十三日AK放送】
山田耕筰

私は世界のクリスマスの中で、ドイツのクリスマスほど心持のよいクリスマスを知りません。
世界のうちで子供を一番大切にしているところから、それはあたりまえかも知れませんが、十二月廿四日の夕べ、クリスマスツリーのうたや静かな夜のうた、町中に鳴り渡るお金の鐘の音の間を縫って、クリスマスの夜を笑う子供たちのうたの世界としてドイツのクリスマス！ ちらちら雪の降る中を太鼓を叩いてクリスマスツリーのうたを冷たい切つた鐘から石の建物の壁に鳴り響かせて通る子供の一隊もあれば、クリスマスの晴れ着に着替った少女たちが、手を携えて家の階段を上りながら、静かに歌ふ静かな夜のうたなど、全く大國が此の世に移されたやうに思ひます。

歌を上手に唱ふには、静かによく聞くことが第一です。よい聲を出すには、正しい呼吸法を考へないで、正しく唱ふ積りで一生懸命にやる事です。が、殊におけいこの時は先づはじめの間の一生懸命に、楽譜を見ても、大事でも、前に申した様に、よく聞くことは、大事なことです。聞く時は、小聲で唄ひながらでは駄目です。静かに聞くことには「ダメマツテ」と云ふのは「ダメマツテ」聞くことなんです。子供があまり大きな聲を出しますのは、丁度子供が大人の着物を着た様でおかしいのですから、大きな聲を出すな、で唱つて下さい。あなたの方の身體が大きなときと一緒で、聲になつて歌も上手に手になれます。

八月六日放送 うちの父さん (子供のテキスト) 奥 子作 詞 河村直則 作曲

無邪氣に ♩=84-88

うたのおけいこ
【八月六日・十三日・二十日・二十七日・九月三日放送】
外山 彦彦

第一回 (六月) うちの父さん
第二回 (七月) 通せんぼ
第三回 (八月) さようなら
第四回 (九月) なしのうらち
この録音は本誌「プロキ」十五にありませう。

ラジオが語る **子どもたちの昭和史**

* 造本 = A4判 / 上製丸背 (第Ⅲ巻は並製) / カバー装 * 総頁 = 約1200頁

* 収録復刻資料 = 日本放送出版協会「ラジオ子供のテキスト」

* Ⅰ・Ⅱ巻 = 昭和の子供たちの生活・遊び・夢を活写する作品550点を収録。編著者・秋山正美による詳細なテーマ別解説付。

Ⅲ巻 = 「子供の時間」に放送された童謡・唱歌100曲の楽譜集。巻末に投稿詞作者へのインタビュー記事を収録。

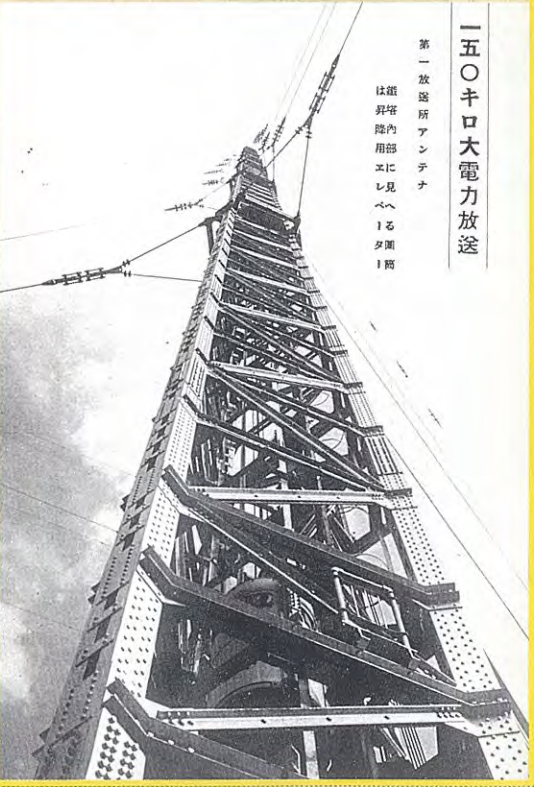
* 販売先 = 小中学校の先生・図書館・幼稚園・保育園、教育学者、社会学者、児童文化研究家、民間教育団体、作家、シナリオライター、風俗研究家、大学短大教育学部、大学短大図書館、公立図書館

分売不可

はしゃいで楽しもう
驚いたあそびが
たっぷり

(大空社 1992年3月刊)

(全3巻揃) 本体53,398円



学術資料出版

大空社出版

eigyo@ozorasha.co.jp
TEL:03-5963-4451 / FAX:03-5963-4461
東京都北区中十条 4-3-2 (〒114-0032)

資料に命の息を
作品に心こめて
形にして伝える。

www.ozorasha.co.jp